

救助用資機材等の整備促進による消防団設備の強化

概要: 消防団の災害対応能力の向上のため、消防団が使用する救助用資機材等の充実・強化を図っている。7月25日からの大雨では、消防団設備整備費補助金を活用して配備した救助用資機材等を用いた活動を実施した。

対策名: 38 地域防災力の中核を担う消防団に関する対策<5か年加速化対策>【総務省】

- 実施主体: 消防庁、山形県内の消防団 等
- 実施場所: 山形県鶴岡市、山形県舟形町 等
- 事業概要: 災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、消防団設備整備費補助金を通じて消防団への救助用資機材等の整備を促進。
- 事業費: 約2.5億円(令和5年度)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約2.5億円)
- 災害の外力、被害と効果: 山形県鶴岡市では、令和6年7月25日からの大雨に伴い、100棟以上の住家に浸水被害が発生したが、消防団設備整備費補助金を活用して配備した高視認性活動服を着用することで、団員の安全を確保した上で、活動を実施することができた。その他、投光器と排水ポンプを用いた夜間の排水作業(山形県舟形町 等)が実施されるなど、各地の消防団において災害対応能力の向上に寄与した。



配備した
高視認性活動服

令和6年7月25日の大雨に伴う活動の様子
山形県鶴岡市提供

補助対象資機材等(例)

